

「のと鉄道アートステーション -ポッポヤ・イン・レジデンス-」  
企画説明会&作品デモンストレーション（能登中島駅、能登鹿島駅）開催のお知らせ

能登への誘客及び地域活性化を図るため、能登独自の魅力をテーマとした参加型イベントとして、能登の駅や周辺地域の魅力をアーティストと住民、旅行者で再構築するアートプロジェクト「のと鉄道アートステーション -ポッポヤ・イン・レジデンス-」を実施しています。

新たに2つの駅の作品について概要が決定しましたので、下記の日程で、企画説明会及び作品デモンストレーションを実施します。参加は無料です。

1 能登中島駅 企画説明会&作品デモンストレーション

(1) 参加作家 しでかすなかまたち

(2) 開催日時 令和5年2月5日(日) 10時30分～12時00分

(3) 開催場所 中島地区コミュニティセンター（七尾市中島町中島甲部170番地）

2 能登鹿島駅 企画説明会&作品デモンストレーション

(1) 参加作家 上野 雄次

(2) 開催日時 令和5年2月5日(日) 14時00分～15時30分

(3) 開催場所 島崎地区集会所（鳳珠郡穴水町字根木イの130番地）

【参考】プロジェクト全体概要

(1) コンセプト

のと鉄道の駅を舞台にアートプロジェクトを行います。地域住民の生活の足として親しまれてきたのと鉄道。その駅には出会いや別れなど、地域の生活のドラマが刻まれています。ところが、沿線人口の減少や車利用へのシフト等によって、利用者が減少し、一部区間の廃止や駅の無人化が進み、このような記憶も風化しかけています。

「のと鉄道アートステーション -ポッポヤ・イン・レジデンス-」は、アーティストが各地域に滞在しながら、沿線住民や旅行者との協働により駅や沿線の魅力を再構築するプロジェクトです。

のと鉄道の沿線地域に詰まった記憶や暮らし、豊かな自然とのどかな風景など、普段は見過ごされがちな要素をアーティストが掘り起こし、再構築した能登の独自の魅力を体感していただけるイベントを開催していきます。

(2) 開催期間

制作期間：令和4年12月から順次 ※制作期間中にも参加型のイベントの実施を予定しています。

作品観覧期間：令和5年3月（予定）

(3) 開催場所

のと鉄道駅舎内や沿線周辺エリア

(4) 参加アーティスト

上野雄次、仮（）-かりかっこ-、小山真徳、しでかすなかまたち、長谷川仁

○主催 能登ふるさと博開催実行委員会